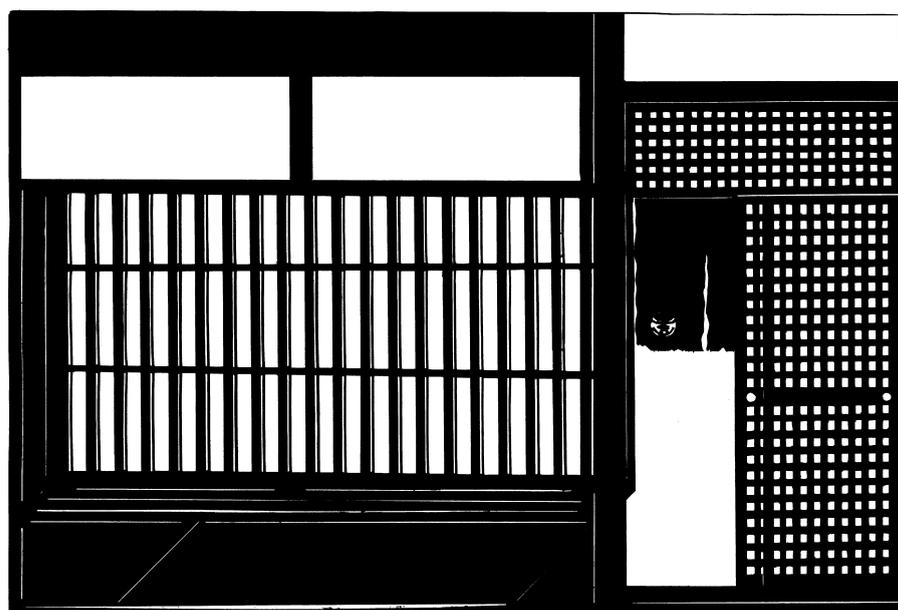


OMNIBUS

大阪医科大学図書館報 / 大阪医科大学附属看護専門学校図書室報

C O N T E N T S

Alexander von Humboldt 財団の事〔元村直靖〕	2
成長に欠かせない本〔重年清香〕	4
本学教職員著作寄贈	5
お知らせ	5
図書館業務日誌	8
編集後記	8



格子

Alexander von Humboldt 財団の事

元 村 直 靖

今般、海外留学など珍しくもなんともないのですが、留学先には選ばれるのは医学や看護学では、アメリカが圧倒的に多いと思います。私は、1990年から1991年にかけて、ドイツ連邦共和国に留学する機会があり、当時のドイツ医学を見聞する機会がありましたので、ここに報告させていただきます。

私は、1986年に本学大学院を修了し、助手として、神経精神医学教室に勤務しておりました。専門分野は、脳と心の関係を追及する神経心理学あるいは高次脳機能障害と呼ばれる分野でした。この分野は、19世紀から20世紀にかけて、ヨーロッパのドイツ、イギリス及びフランスで神経症候学として発展してきました。フランスのブローカ、ドイツのウェルニッケはブローカ失語やウェルニッケ失語として、よく使われるので、学生の皆様もどこかで聞いたことのある名前だと思います。この分野は20世紀の終りには、画像診断の進歩とあいまって、爆発的な進歩を遂げています。



図1：ヴァイツゼッカー大統領とボンの大統領官邸にて（1991年7月）



図2：ヴァイツゼッカー大統領夫人とボンの大統領官邸にて（1991年7月）

この分野で当時、世界的に高名なドイツ連邦共和国のアーヘン工科大学のペーク先生のもとで、研究生を送りたいと思っておりましたが、幸い、Alexander von Humboldt 財団から奨学金の給費を受けられることが決定し、ドイツ連邦共和国に留学することになりました。

アレクサンダー・フォン・フンボルト財団（Die Alexander von Humboldt Stiftung）は国際研究協力助成を目的として、ドイツ連邦共和国が1953年に設置した公益財団であり、この名称は、博物学者のアレクサンダー・フォン・フンボルトに由来します。有能な外国人研究者に対し、ドイツにおける長期研究滞在の機会を提供し、それに通じた学術文化交流を支援しています。滞独研究期間中のみならず、その後の研究交流も助成する点が大きな特徴です。日本からは、人文・社会科学・自然科学を問わず、毎年10～20名の奨学生が選抜され、1～2年の滞独研究を実施しています。

という訳で、幸に Alexander von Humboldt 財団の給費留学生として、1990年6月にドイツの地を踏みました。給費留学生の申請はすべて英語で行われ、必ずしもドイツ語は必要ではなかったのですが、研究上、ドイツ語も必要であるとされたため、6月から9月の4ヶ月間、フライブルグのゲーテ協会でもドイツ語の勉強をするようにとのことでした。ご存知とは思いますが、ゲーテ協会は、ドイツ文化を世界に紹介し、特にドイツ語の教育には熱心で、大阪の梅田にもゲーテ協会があります。フライブルグのゲーテ協会の先生は当然ドイツ人であり、授業はすべてドイツ語で行われます。世界中から生徒が来ていますが、当時は日本からもたくさんの留学生が勉強していました。

さて、私が、ヨーロッパにいたのは、1990年～1991年ですが、その前年1989年には、ベルリンの壁が崩れ、東ヨーロッパの共産主義体制が崩壊しました。多くの難民や移民がドイツになだれこん

だ年でもありました。幸い私が居たフライブルグの町は南西ドイツにあり、そのような影響は少なかったのです。

ところで、留学のほうは、語学研修を終え、10月から今度は、アーヘンにあるアーヘン工科大学医学部に移動です。アーヘンは、神聖ローマ帝国の首都で、8世紀から栄えた古い町であり、現在では温泉の出る保養地としてよく知られています。アーヘン工科大学は、ノルトラインウェストファーレン州の州立大学であり、この医学部神経科のペーク先生の下で1年間の研究生活を送ることができました。ペーク先生は親日家として知られ、日本にも何度も来られており、また、世界神経学会の会長も務められました。



図3：ボンの大統領官邸



図4：ブランデンブルグ門の前で

このような留学生活を送れたのも Alexander von Humboldt財団のお陰であり、ドイツ語学校の費用、飛行機代などの交通費、生活費のほぼ全面的に補助が受けられたことをここに感謝したいと存じます。

なお、添付した写真は、ドイツ滞在時のものです。当時は年に一回、フンボルト財団給費留学生在が、ボンにある大統領官邸に招待されており、その折の写真も添付いたします。また、フンボルト財団にご興味がある方は、下記のアドレスにアクセスして下さい。

アレクサンダー・フォン・フンボルト財団

- ・ Humboldt Research Fellowship for postdoctoral researchers

博士号取得から4年以内の若手研究者がドイツの大学あるいは研究機関で研究するための奨学金（6－24か月）。

詳細はwww.humboldt-foundation.de/en/programme/stip_au/stp_p.htmを参照。

- ・ Humboldt Research Fellowship for experienced researchers

博士号取得から4年以上12年以内の研究者がドイツの大学あるいは研究機関で研究するための奨学金（6－18か月）。

詳細はwww.humboldt-foundation.de/en/programme/stip_au/stp_e.htmを参照。

- ・ Sofja Kovalevskaja Award

博士号取得後6年以下の優秀なポストドク研究者が自分の作業グループを作り、選択した研究をドイツの研究機関で5年間行うための助成。

詳細はwww.humboldt-foundation.de/en/programme/preise/kova.htmを参照。

- ・ Friedrich Wilhelm Bessel Research Award

ドイツの著名な研究者の推薦により博士号取得後12年以下の優秀なポストドク研究者に与えられる賞。賞金とドイツでの研究。

詳細はwww.humboldt-foundation.de/en/programme/preise/bessel.htmを参照。

- ・ Humboldt Research Award

ドイツの著名な研究者の推薦により優秀な上級研究者に与えられる賞。賞金とドイツでの研究。

詳細はwww.humboldt-foundation.de/en/programme/preise/pt.htmを参照。

（もとむら・なおやす 看護学部教授）

成長に欠かせない本

重 年 清 香

私は、昔から関心のある分野や気に入った本に出会うとシリーズで購入したくなることが多く、自宅には本棚に入りきれない本が無造作に積み上げられている。ここ数年間は、専任教員として教育に携わる上で必要な知識の吸収あるいはその時々悩みを解決したい気持ちが強く、購入した本は専ら仕事に関係する看護学の専門書、人間理解を深めるための心理学や教育学の専門書がほとんどであった。専門書を読む際は、何度も同じ箇所を読み返し、時には別の書籍も参考にしながら書かれていることを頭で理解できるまで読むために、私の場合集中力と時間を要する。できれば、さらっと読んですぐ理解できるようになりたいと願うが思うようにならず、活字を追って見るがなかなか頭に残らないために、必要に迫られないと気が進まない時もあり、購入したが未だ手をつけていない本も多い。

一方、読みながら本の世界に自分の身を置き、主人公の気持ちを追体験できる本や自分の視野の広がるような本の場合は違う。例えば、中学の娘に勧められて読んだ「西の魔女が死んだ」(梨木香歩著・新潮文庫)は、中学校へ行けない主人公が田舎の祖母のところで生活することになり、身近な自然を感じながらの心地よい生活に、主人公の心は次第に癒されていくという内容であったが、読みながら主人公の気持ちも、その母親や祖母の気持ちも手に取るように理解できた。そして、人がなぜ苦勞をしながらも生きていくのか、心の豊かさがどのようにして育まれるのか、日常の中で何を大切にしなければならないかなどを考える機会になった。また、最近読んだ『新編 普通をだれも教えてくれない』(鷺田清一著・ちくま学芸文庫)は、現代社会の「いま」と哲学的思考とが合わさったショートエッセイ集であるが、哲学独特の難解な表現はなく、ちょっとした暇な時間を使って読むことができた。この本は、日常の事象や事件を題材にして、私たちが暮らす場は自由で快適で安全な暮らしが実現しているようで息苦しく、時に他人を、そして自らを傷つけていることを示しながら「普通」はどこにあるのか?という問いを投げかけてくるため、読んでいる時間を忘れるほど集中し、読むことを苦に思わなかった。

思えば、私が読む本は、その時の環境や心理状態を鮮明に写している。知識を渴望しているときは難しい専門書を悪戦苦闘しながら読み、本を何冊も見比べることで記載内容の意味を考えることも充実した時間であるが、感傷的な時や楽しく過ごしたい時には、紆余曲折する物語に様々なことを感じながら話の行方をワクワクしながら読み、自分の心を豊かにしてくれる本を欲している。だが、どちらの場合も、切羽詰った心理状況よりも気持ちにゆとりのある時のほうが心に残るものは多い気がする。

本は、私の成長過程において様々なことを与え気付かせてくれる機会として欠かせないものの一つである。最近では、様々な種類、内容の本が出版されており、インターネットの普及や図書館の充実に伴い、探せば自分の求める本に出会い、購入することも閲覧することも可能である。あまり気負うことなく、また偏ることなく様々なジャンルの本に興味を持って、これからも読もうと思う。

(しげとし・きよか 看護専門学校教員)

本学教職員著作寄贈

(平成22年5月～平成22年11月分)

奥田 準二 先生（一般・消化器外科准教授） 寄贈日：2010年9月1日

腹腔鏡下低位前方切除術：DVD x 2 included／(奥田準二のエキスパートテクニック：要点イラストとライブ音声解説ビデオで視る；1)／谷川允彦監修；奥田準二編著 2010.7 中外医学社

腹腔鏡下結腸右半切除術：DVD x 1 included／(奥田準二のエキスパートテクニック：要点イラストとライブ音声解説ビデオで視る；2)／谷川允彦監修；奥田準二編著 2010.7 中外医学社

腹腔鏡下大腸手術の基本手術手技：腹腔鏡下S状結腸切除/前方切除—技術認定取得者からの提言DVD添付／奥田準二編集 2010.7 中外医学社



1. メディカルオンラインの利用についてのお願い

国内発行の雑誌論文の全文（PDF）が、学内ネットワークを介して閲覧できるメディカルオンラインの利用に際して、特定の雑誌から一度に大量の論文をダウンロードするといった不正な利用行為が平成22年11月になって2件発生したことが、メディカルオンラインの提供元メテオ社から通知されました。メディカルオンラインの利用に際しての不正な利用行為として、下記の事項が定められています。

- (1) 法人会員は、ロボット等による機械的な大量のダウンロード行為をしてはならないものとします。
- (2) フリーアクセス法人会員（本学のように学内LANを介して何時でもメディカルオンラインにアクセスできる会員）は、特定の雑誌のみを目的とした大量のダウンロード行為をしてはならないものとします。
- (3) 法人会員登録者による禁止行為が行われた場合には、メテオは、サービスの利用停止を行い、当該法人会員管理責任者に対して、適切な措置を求めることが出来るものとします。

不正行為がありますとメテオ社からメディカルオンラインのサービス利用停止処置が取られる場合もありますので、節度のあるご利用をお願いいたします。

なお、機械的な大量のダウンロード行為や特定の雑誌のみを目的とした大量のダウンロード行為の禁止は、全ての電子ジャーナルや検索サイトにも適用されますので御注意をお願いいたします。

2. 2010年～2011年に変更等がある雑誌のお知らせ。

◎購入希望があり2011年より購入予定の雑誌：今後の利用動向を見て購読の継続を計ります。

- ・ Gait & Posture (Elsevier: Online)
- ・ Heart Rhythm (Elsevier: Online)
- ・ Seminars in Fetal & Neonatal Medicine (Elsevier: Online)
- ・ アディポサイエンス (フジメディカル出版)

◎刊行元(学会等)からオンラインジャーナルが無料公開される雑誌：図書館での冊子の購読を中止します。

国内誌

- ・ Acta Histochemica et Cytochemica (日本組織細胞化学会)
- ・ Circulation Journal (日本循環器学会)
- ・ Neurologia Medico-Chirurgica (日本脳神経外科学会)
- ・ 生物物理 (日本生物物理学会) ※Suppl. (学会抄録) は公開なし

外国誌

- ・ Acta Dermato-Venereologica (Acta Dermato-Venereologica, Uppsala)
- ・ Journal of Clinical Investigation (American Society for Clinical Investigation)

◎休刊誌

2010年中に休刊された雑誌

- ・ 臨床研修プラクティス (文光堂)
- ・ 蛋白質・核酸・酵素 (共立出版)

2011年に休刊される予定の雑誌

- ・ 治療学 (ライフ・サイエンス出版)
- ・ 臨床脳波 (永井書店)

◎版元が変更される雑誌：2011年からは新しい版元のプラットフォームで電子ジャーナルが提供されます。

- ・ Acta Cytologica
International Academy of Gynecological Cytology → Karger
- ・ American Journal of Pathology
American Society for Investigative Pathology → Elsevier (ScienceDirect)
- ・ Otolaryngology - Head and Neck Surgery
Elsevier (ScienceDirect) → Sage Publications

3. Harrison's principles of internal medicine 電子版の変更について

医学テキスト「Harrison's Principles of Internal Medicine」の電子版につきまして、これまではOvid Web Gateway (Books@Ovid) 経由で提供されていましたが、平成23年(2011年)1月以降はMcGraw-Hill社のACCESS Medicineから提供されることとなりました。図書館ホームページ中のリンクをたどって御利用下さい。

4. 新図書館システムが来年度スタート

平成23年4月より、図書館システムが新しくなります。

従来の図書館システムLVZのメーカー側サポート終了により、新システムを検討してきました。その結果多くの図書館で採用されている株式会社リコーの図書館システム「LIMEDIO」を導入することとなりました。同システムは近畿地区の医科系大学では、滋賀医科大学附属図書館、京都府立医科大学附属図書館、関西医科大学附属図書館、和歌山県立医科大学附属図書館で採用されています。

医科大学 蔵書検索

[ヘルプ](#) [English](#)
[終了](#)

検索条件入力

マイライブラリ

簡易検索 詳細検索

●対象データベース： 本学所蔵 NACSIS目録

●資料の種類： 図書 雑誌 AV資料 巻号タイトル

●キーワード：

●ISBN：

●ISSN：

●NCID：

●タイトル：

●編著者名：

●件名：

●出版社：

●言語：

●出版年： から

●和洋区分： 全て

●分類：

●請求記号：

LIMEDIO の検索画面イメージ

新システムでは、利用者情報の確認時にはIDとパスワードの組み合わせによるログイン方法を採用します。個人IDとパスワードの組み合わせは、医学部および看護学部学生および看護専門学校学生の方々はIDに学籍番号とパスワードに生年月日を、教職員にはIDに職員番号とパスワードに生年月日現在の組み合わせを予定しています。初期設定されたIDとパスワードでログインしていただき、個人でパスワードの付け替えをしていただくこととなります。このようにLVZシステムよりも安全性を重視し、これまで行っていたサービスに加え、個人の借出し記録の提供等のサービスも行う予定です。

平成23年4月のスタートに備え、平成23年3月からは試験運用を始める予定です。

今後も新システムについて紹介してまいりますので、この新システムをご活用いただきよりいっそう図書館をご利用いただきますようお願いいたします。

5. 休刊のお知らせ（看護専門学校図書室）

看護学雑誌	38(1974) - 74(2010)
Smart nurse	11(2009) - 12(2010)

図書館業務日誌

- | | |
|---|--|
| <p>平成22年 6月</p> <p>8日(火) 看護専門学校図書委員会(於、
図書館館グループ室)</p> <p>23日(水) ~24日(木) 見計い図書選定
(於、図書館館長室)</p> <p>28日(月) 図書館合同運営委員会・PDC
A委員会(於、図書館館長室)</p> <p>7月</p> <p>10日(土) 日本看護図書館協会利用者教育
研究グループ勉強会(於、図書
館館長室)</p> <p>15日(木) 看護専門学校図書委員会(於、
図書館館グループ室)</p> <p>21日(水) ~22日(木) 見計い図書選定
(於、図書館館長室)</p> <p>26日(月) 図書館合同運営委員会・PDC
A委員会(於、図書館館長室)</p> <p>8月</p> <p>14日(金) 日本看護図書館協会教育・研修
委員会(於、図書館館長室)</p> <p>10日(火) ~16日(月) 夏期期間開館時間
変更</p> <p>25日(水) ~27日(金) 日本看護図書館協
会第41回研究会館員出席(於、
熊本保健科学大学)</p> <p>9月</p> <p>6日(月) 図書館将来計画実行委員会(於、
図書館館長室)</p> <p>13日(月) Bulletin of the Osaka Medical
College編集委員会(於、図書
館館長室)</p> <p>14日(火) 看護専門学校図書委員会(於、
図書館館グループ室)</p> <p>15日(水) 公私立大学図書館コンソーシア
ム版元説明会館員参加(於、近</p> | <p>畿大学)</p> <p>21日(火) ~22日(水) 見計い図書選定
(於、図書館館長室)</p> <p>27日(月) 日本医学図書館協会電子ジャー
ナル説明会館員参加(於、大学
コンソーシアム大阪)</p> <p>27日(月) 図書館合同運営委員会・PDC
A委員会(於、図書館館長室)</p> <p>10月</p> <p>3日(日) 図書館システムファイヤーウォ
ール更新工事</p> <p>12日(火) 看護専門学校図書委員会(於、
図書館館グループ室)</p> <p>20日(水) 日本看護図書館協会教育・研修
委員会(於、図書館館グループ
室)</p> <p>20日(水) ~21日(木) 見計い図書選定
(於、図書館館長室)</p> <p>25日(月) 日本医学図書館協会近畿地区セ
ミナー館員参加(於、大学コン
ソーシアム大阪)</p> <p>25日(月) 図書館合同運営委員会・PDC
A委員会(於、図書館館長室)</p> <p>11月</p> <p>6日(土) 日本看護図書館協会第6回新人
研修会館員参加(於、図書館館
長室)</p> <p>9日(火) 看護専門学校図書委員会(於、
図書館館グループ室)</p> <p>17日(水) ~18日(木) 見計い図書選定
(於、図書館館長室)</p> <p>22日(月) 図書館合同運営委員会・PDC
A委員会(於、図書館館長室)</p> <p>25日(木) 次期図書館システム打合せ会議
(於、図書館館長室)</p> |
|---|--|

編 集 後 記

今回の巻頭言は看護学に就任されました元村直靖教授に記事をお願いしました。表紙のカットは今回も職員OBの鈴木豊明氏からいただきました。

皆様からの投稿記事を歓迎いたします。OMNIBUS に対するご意見もお寄せ願います。 (宮本)

OMNIBUS「大阪医科大学図書館報／大阪医科大学附属看護専門学校図書室報」

No.38号 2011年1月11日 発行

編集・発行 大阪医科大学図書館

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2-7

TEL (072) 683-1221

(内線2799, 2621)

印刷 大日本印刷株式会社